

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区花畑地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月7日 【評価委員会】令和7年8月13日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員会	
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	18.0 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】窓口および講座で使用できるようにタブレット端末を導入している。よく聞かれる近隣の道案内のための地図と日本語のコミュニケーションに不安な方向けに翻訳アプリ入れて活用している。また、季節によっては併設施設を利用するために初来館する利用者もいるため、ホスピタリティを持って対応できるように併設施設のサービス内容を確認する研修や接遇研修、システムではチケット販売の復習など幅広い内容を取り扱った研修を実施している。			
			【改善すべき点・課題等】次年度より新システム導入が予定されている。システム操作による知識を正しく理解することが必要であるので、全スタッフの操作研修機会を積極的に増やしていけるような工夫を施していきたい。			
		区 記入欄	【特記事項】独自に翻訳アプリを導入したことや、サービス向上に向けた複数の研修を実施したことを評価する。			
		評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】 翻訳アプリの導入について評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
		B 安全性 の 確保	施設の安全性は確保されているか		評価点	
			指定管理者	担当課	評価委員会	
	1		施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	3.0	3.0	14.6 (満点20点)
	2		施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0	
	3		利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	5.0	
	4		危機管理(防災・防犯・事故対応)が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	4.0	
	指定 管理者 記入欄		【アピールポイント】消防避難訓練は日々の訓練をベースにスタッフの意見を取り入れて進めている。車いす利用者、視覚障がい者がいる想定訓練、避難誘導放送で曖昧(方角を示す案内など)なアナウンスにならないことを訓練に取り入れた。日常の施設管理では非常口の場所の案内図を作成して各部屋に貼付し、防災意識啓発を周知する対策を講じた。利用者が快適に利用できる工夫としては、日常清掃や定期清掃でも行き届きづらい部分の環境整備を定着させるためにリスト化して実行している。			
			【改善すべき点・課題等】経年劣化による設備の不具合が昨年度より増えている印象があり、その対応に追われることが多かった。重大な事案とならないように所管課と連絡・相談を欠かさず進めていきたい。			
	区 記入欄		【特記事項】項目3について、利用者満足度を向上させるため、日常・定期点検とは別にサーキュレーター等の備品の清掃を実施した。利用者アンケートにおける「満足」、「やや満足」の回答数が増加していることを踏まえ、水準点に2点加点する。項目4について、分かりやすい避難経路図等を新たに作成し視覚的に職員や来館者に判別しやすい案内を行っている取り組みを評価し、水準点に1点加点する。			
	評 価 委 員 記 入 欄		【評価すべき点】 障がい者を想定した避難訓練や来館者にわかりやすい非常口案内図の作成は評価できる。また、見過ごされがちな部分や場所の清掃に気を配り実施している。今後も継続してほしい。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

C 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3.0	3.0	10.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	5.0	4.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】個人情報保護およびコンプライアンスについての研修、確認テストは例年通り実施している。責任者に対しては、他者の権利侵害等を引き起こさないように、図書館の著作権研修内容を参考に社内でセンター・図書で合同研修を実施、運営で起こりうる例を挙げて注意喚起も行った。また、ソーシャルメディアの使い方の研修も実施した。物理的な対策としては、予約システムの画面にのぞき見防止フィルムを貼付して漏えい防止対策を行っている。			
区記入欄	【改善すべき点・課題等】違反等に抵触しないためには、研修・教育、互いに注意喚起を定期的に行うことでスタッフ各自が意識を高く保てるものだと感じる。ただ、個人情報保護や関連法規などを巡る状況の変化は目まぐるしいため、各自の考え方も強化できるよう対策を講じていきたい。				
評価委員記入欄	【特記事項】項目3について、センター・図書館職員を対象とした著作権研修を企画実施した。図書館独自の確認テスト等により、職員の意識向上に努めた点で、水準点に1点加算する。次年度は外部研修等の実施を期待する。				
			評価点		
D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支 (13,622千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】事業収入は安定しており、コロナ禍以前よりも向上している。経理関係書類においては統括責任者を含め、複数人でのチェックを行っており、問題なく管理できている。			
	指定管理者記入欄	【改善すべき点・課題等】窓口で複数案件を一度に対応する際、十分な確認を行うことができず施設還付のミスを1件引き起こしてしまった。直ちに還付の操作指導を行い、焦らずに複数のスタッフの目で確認することを徹底するようにした。改めて研修を実施して、その後は同様のミスは無く運営はできている。各スタッフが冷静に対応を進めることができるように研修という学びの場を適切に設けていきたい。運営全般での費用負担増については加速度を増している印象がある。利用者サービスの低下にならないために適材適所で経費をかけられるような管理運営、日々の経費節減に努めていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】雨天によるテニスコート使用料の一部還付を誤って全額還付してしまうミスが発生した。使用時間と雨天還付対象時間の突合もれが原因であり、利用者には再来館の手間をかけてしまったが、再発防止策を講じ同様のミスが未発生であるため、ミスの割合（ミス1件/年間受付25,000件以上）を考慮し減点しない。収支に関して、多数の事業実施等により黒字であるが、引き続き適切な経費削減に努め、物価高騰等への対策を講じてほしい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】財務、財産管理は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目		中項目		確認項目			
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	20.0 (満点20点)	
		2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】広報の取り組みとしては、まずミニコミ紙の配布先を町会自治会で3か所拡大することができた。ソーシャルメディアも各種活用しているが、特にInstagramやX [旧Twitter] が運用できていてフォロー数も大きく増加している。講座に関しては「花畑遺跡」を取り上げた講座から子ども向け「仕事体験講座」、成人向けの「フランス語講座」など幅広い年齢層に向けての新規事業を展開している。また、コロナ禍で控えていたロビーコンサートも再開するなど、既存事業の見直しも進めることができた。その他、地域ニーズ発掘以外にも料理室利用者向けアンケートを実施した後、結果を反映してスイーツ作りの料理講座を開催した。				
		指定 管理者 記入欄	【改善すべき点・課題等】料理講座開催のための見直しを毎年実施しているが、昨今の物価高騰は大変厳しい。本年度も止む無く教材費を上げて開催している状況であるが、それでも野菜の価格変動があるなどで定員近くても採算が合わないこともあった。世情やその時々々の気候などを勘案しつつ、受講生が参加できる許容を模索して講座開催を進めていきたい。				
		区 記入欄	【特記事項】項目1について、各町会・自治会に協力を依頼し、ミニコミ紙の配布先拡大により講座申込者数の増加につながったと考える。また、今まで関わりがなかった地域との交流が深まる機会となっており、水準点に2点加点する。項目2について、花畑地域の文化財である「花畑遺跡」など独創的なテーマに基づいたA型事業を複数実施し、新たな受講者を獲得できた点で水準点に2点加点する。項目3について、新たなB型事業として「芸術・文化」部門に特化した「声優」、「作家」などのお仕事体験講座を実施した。地域の子どもたちに学習の機会を与え、また新たな利用者を獲得した点で水準点に2点加点する。項目4について、新規C型事業としてシニア向けスマートフォンサロンを実施した。個別相談にも応じながら、より便利な使い方や機能を習得したいといった高齢者の学びをサポートし、リピーターや新たな利用者を獲得した点で水準点に2点加点する。				
		評価 委員 記入欄	【評価すべき点】多様な活動が展開されている。ミニコミ紙に関して、エビデンスに基づき配付範囲を拡大し、成果をあげていることは評価に値する。また、ロビーコンサートは良い事業であると考え。身近なパフォーマンスに触れることで、さらなる地域活性化につなげてほしい。 【改善すべき点】 【その他注意点】SNS発信数実績は計画以上であるが、3種類の媒体で同一内容の発信をしている場合もあるため、合計数にはあまり満足せず取り組んでほしい。				

B 学習支援の取り組み	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	5.0	5.0	14.6 (満点15点)
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
指定管理者記入欄	【アピールポイント】防災に対して平時より地域の住民同士で顔を合わせて考えるための「防災フェス」をUR都市機構や町会自治会、大学や幼稚園の教育機関、病院、障がい者施設などと開催、昨年度に引き続き子ども達が仮装してごみ拾いして練り歩く「クリーンパレード」を関係各所と連携して開催している。こういったイベントを通して互いに依頼をしやすい関係性が築けているため、登録団体のアウトリーチ活動の場を増やすことができた。また、登録団体のサークル支援講座にも力を入れ、支援の未活用団体にも声を掛けて実施し、会員数の増加につなげることができている。ボランティア活動では、既存の活動だけでなく藍染め制作協力など新たなボランティア活動を創出し、新たな活動の担い手を増やす取り組みを行った。その他にも区及び都の選挙管理委員会と物品やツールなどを使用することで連携し、フォトコンテストを実施した。				
	【改善すべき点・課題等】サークル支援講座を活用し、安定して参加をいただくことができて入会までに至らないケースもみられた。サークルの意向を踏まえ、どのようにしたら入会・定着するかを考えていきたい。				
区記入欄	【特記事項】項目1について、サークル支援講座について懇談会で積極的な周知を行い、未利用団体に活用を促し、複数のサークル支援講座を実施した。サークル支援講座の実施自体は仕様書の範囲内だが、支援した7団体で計17名の新規加入者を獲得し、会員数を大幅に増加させた。また、一般団体からの相談に応じてコンサートと体験講座を実施し、会員の増加に寄与した。以上を踏まえ、水準点に2点加点する。項目2について、「防災」をテーマにした「花畑ささえあいプロジェクト」等のイベントで複数の団体と連携し、地域団体との交流を深めた点で水準点に2点加点する。項目3について、花畑地域の風景を撮影、投稿し投票しあう「花畑ふれあいフォトコンテスト」など、地域特性や地域人材を生かしたイベントを実施し、多くの来場者を得ており、水準点に2点加点する。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】サークル支援などが積極的に行われている。また、多様な年代に対する取り組みがなされている点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】クリーンパレード、写真コンテスト、ふれあいまつりなど様々な交流イベントが行われているが、期間的にも内容的にもかなり重なる部分があるため、もう少し連携できるとよい。広報活動も一連の取り組みとして違った形で行えると集客にもつながると思われる。				

C 図書館 事業の取 り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	9.9 (満点10点)	
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0		
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】開館50周年を記念した「花畑図書館まつり」を開催し、講演会や本にまつわるイベント、開館前後の地域の写真展示などを行い235名の参加があった。親子で本に親しむことを目的とした新規イベントとしては「わんこおはなし会」「ダイナミックおえかき会」「絵本でひろがるつみきあそび」を開催した。また、地域との連携策では、新たに近隣施設6ヶ所出張おはなし会や本の貸出を実施し、図書館に来館していただく取り組みを継続した。7月の貸出ルール変更では、独自ポスターの掲示や窓口での案内を行いトラブルは無かった。また館内でのマナー向上を図る目的でオリジナルポスターを作成し掲示した。				
		【改善すべき点・課題等】図書館資料の充実が来館者を引き付ける魅力の一つであるため、資料の買い替えや購入を進めつつ、資料展示を工夫して利用者が館内での読書や本を借りていく環境を整備していく。				
	区 記 入 欄	【特記事項】ルール変更に関して、オリジナルポスターによる周知を徹底した。渚江中学校の生徒によるPOP展示では、SNSの発信などにより、貸出率の向上にも寄与している。また、開館50周年記念イベントや本に関する体験事業では、様々な企画が参加者からも好評であり、アウトリーチ事業においては、新規先を開拓するなど積極的に活動したことで、参加者の増加や、図書館の利用促進に結びついている点を評価する。				
	評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】開館50周年を記念しての図書館まつりは、利用者同士のつながりにもなった。また、地域の学生参加によるポップ展示は、貸出率の向上につながった。 【改善すべき点】 【その他注意点】				
	D 利用の 状況	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
1		学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設38%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値 42.8%（前年度利用率+3%）	5.0	5.0	9.0 (満点10点)	
2		図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（213,653人） ※基準値/178,311人 貸出冊数（168,775冊） ※基準値/163,292冊	4.0	4.0		
指定 管理者 記入欄		【アピールポイント】（センター）新規講座の複数開催、夏季休業期間の定例講座開催、イベント複数開催など全体的に施設を活用した。また、料理室の活用促進を図るため、講座開催やモニター利用などの取り組みを実施したことで利用率は大きく増加している。（図書館）保育園へ定期的な訪問を行い、出張おはなし会開催および図書館の本を貸出したことで、貸出数が昨年度までの減少から増加に転じた。				
		【改善すべき点・課題等】（センター）学習施設を時間帯や季節などで活用しきれていない箇所があるため、活用できる事業実施を検討していきたい。（図書館）初めて来館した方が定期的に利用されるように資料の充実と展示の工夫を図っていく。				
区 記 入 欄		【特記事項】項目1について、料理室の施設利用者をモニターとした調査を行い、集めた意見をもとに料理室内の消臭や清掃の改善、料理講座の企画内容への反映などの対応をとることで料理室の利用促進を図るとともに利用者満足度の向上に努めた。そのほか、新規事業や夜間講座の実施など複合的な取り組みの結果、学習施設の利用率について達成目標であった前年度利用率の3%増加を概ね達成しており、水準点に2点加点する。項目2について、子どもや親子をターゲットとした積極的なアウトリーチ事業を展開し、貸出数の増加に繋がり、貸出冊数は基準値に達した。貸出冊数前年比増加率の加点基準を達成したため、水準点に1点の加点とする。				
評 価 委 員 記 入 欄		【評価すべき点】利用状況はいずれも増加している。特に図書館の利用者数は大幅な増加となっている。また、出張による貸し出し絵本などの取り組みは、保育園にとって有益であると考えられる。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】花畑公園・桜花亭イベントに協力すると共に「花畑スマイルスポーツフェス」を花畑公園で開催した。複数の関係各所のブースで体験会があるため、すべてを体験してもらえるようにデジタルスタンプラリーを制作して運用する工夫を施した。他にも車いすバスケットボールや料理教室など事業の幅も広く開催することができた。情報発信では、昨年度まで3分野連携事業専用のLINEアカウントを運用していたが、施設全体のアカウントと統合してひろく情報を伝えられるように変更した。			
	区 記入欄	【改善すべき点・課題等】情報発信において参加を後押しするような発信はあまりできていなかった。発信内容を精査して計画的に運用できるよう進めていきたい。			
F 主要事 業の企 画・実 施・成果			評価点×3		
	5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか (評価点×3)		指定管理者	担当課	評価委員
	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			23.7 (満点30点)
2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか				
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】地域の自然環境を整える「お花いっぱいプロジェクト」の一環として花畑図書館まつりと抱き合わせで来館者に花苗を植えてもらうイベントを実施した。自宅での育成用にも花苗を持ち帰ってもらい、花と緑の普及啓発を行った。植えた花は押し花にして図書館利用者に配布する取り組みを行っている。また、本年度は藍染め教室も開催して植物が持つ自然の美しさを利用者に体感してもらった。昨年度から開催している「はなはたフェスティバル」では、ダンスイベントを開催して主要事業の土台を作ることができた。今は個別の取り組みであるが、少しずつ融合させて壮大なものに仕上げていけるよう、スタッフ一丸で取り組んでいく。			
		【改善すべき点・課題等】ここ毎年夏季の暑さは大変厳しいため、敷地内の植栽管理は気を使った。これからも同様の暑さは続くだろうと感じるため、忍耐強く管理に努めていきたい。			
	区 記入欄	【特記事項】「お花いっぱいプロジェクト」での花苗を植えるイベントや「藍染教室」など、利用者に植物と関わる機会を提供し、自然環境の整備に興味を持ってもらう取り組みを実施している。また、5カ年計画の主要事業「ハニカムフェス」のプレイベントの位置付けである「はなはたフェスティバル」では、ダンスイベントを実施し主要事業の土台づくりに取り組んだ。次年度は花畑地域の郷土芸能（獅子舞）とダンスを融合させたイベントを実現させ、地域住民の花畑の歴史への興味関心を喚起させ、主要事業の成功に向けて前進してほしい。			
	評価 委員 記入欄	【評価すべき点】お花いっぱいプロジェクト、養蜂、歴史・文化が融合されていく可能性に期待が持てる。特に、花畑の歴史講座に関しては、それが紙芝居や獅子舞の保存会につながっているというのはテーマとしてとても良い。歴史講座と郷土芸能を組み合わせる大きなものにし、集客に生かしてほしい。 【改善すべき点】はなはたフェスティバルで行っている活動について、外部へのアピールが十分なされていないと思われる。 【その他注意点】			

利用者の満足を得られているか（評価点×2）		評価点×2			
		指定管理者	担当課	評価委員	
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3 (×2)	33.6 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.7 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.1 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.7 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】本年度有料デザインツールを導入し、講座チラシや案内文を作成している。その取り組みが影響しているのか、情報媒体に関しての設問で館内チラシと回答いただく割合が上昇している。今後も目を引くような制作には力を入れ、施設としての利用者の有益性がより高くなるよう邁進していきたい。			
		【改善すべき点・課題等】昨年度よりもアンケート取得数が増えているが、接客対応、清潔、館内表示についての設問で「不満」に振れることは無かったが、「満足」の評価が増えることも無かった。一定の評価は頂いているものの現状維持であるということを謙虚に受け止め、利用者が快適にご利用いただけるよう努めていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】料理室を活用したお菓子づくり講座など独自性の高い事業を数多く実施しており、事業満足度は前年度と同水準であったものの利用効果は0.1点上昇し、利用者の学習意欲の向上が見られた。広報に関しても、新たなデザインツールを導入し、掲示物を作成するなど更なる質の向上に向けた取り組みを行っている。接客対応、施設の清潔さ、館内表示に関する設問項目において、学習センターでは各項目とも「満足」の割合が減少しているが、一方で図書館では「満足」の割合が増加しており、施設全体としては現状維持の状態である。利用者の声を拾う努力をしながら、両方で情報共有を図り、施設全体の快適性や利便性の向上に取り組んでほしい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】運営満足度、利用効果で高い評価を得ている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	合計点		107.0 (満点130点)	138.6 (満点=170点)	161.4 (満点=200点)
	特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	各種事業が積極的に展開されており、成果をあげている。地域との交流イベント「クリーンパレード」「花畑ふれあいコンテスト」「ふれあいまつり」を実施するなど、豊富な取り組みがなされている。また、図書館運営に関して、課題であった図書貸出冊数の減少に対して現状分析し、アウトリーチ事業の拡大等の対策を講じて、貸出冊数を増加させたことを評価する。就学前施設における出張おはなし会は、子どもたちの語彙力向上につながる取り組みのため、継続してほしい。			

【評価委員会評価結果】

評価委員会 評価結果	得点	評価	⇒	ランクダウン 有・無	⇒	総合評価
	161	A-				

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】 該当項目なし。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、 「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。